

文化祭のあと、違う学年で過ごす先輩の姿を見て嫉妬している雰囲気です！
本編最終トラックなので、えっちは一番激しめをお願いします！

【位置：やや右 距離：近】

ふう……。

疲れましたね。

脚、くたくたになってしまいました。

……はは、先輩もですか？

じゃあ、少し休んでいきましょ。

例の空き教室、今日は閉鎖中みたいですし。

（張り紙を指し示し読み上げる）

ほら、この張り紙に書いてあります。

「文化祭備品管理のために立入禁止です」って。

バレル心配はまあ……大丈夫じゃないですか？

私達くらいなら。

いざという時は、まあ誤魔化せると思えますので。

（自分のその生き方に納得しないがそれが性分だと割り切ったように）

ずっと、そうしてきましたから……。

はい、行きましょ？

（1分くらい歩きながら）

（横になって手をつなぐ）

んっ……。

先輩……手。

やっぱりぐっぐっしていますよね、先輩の手って。

それに汗も……。

大丈夫ですよ、離さなくて。

むしろ温もりを感じられて好きですので……。

私も握り返しますから……。

（ゆっくり、つないだ手の感触を確かめながら）

んふ、指、絡まってしまいました。

ドキドキします……。

好きですよ、先輩。

んっ……。

（ゆっくりした雰囲気から戻すように話題を変える）

文化祭、私達にはまだちょっと難しかったかもですね。

ただでさえ人がいっぱい学園なのに、

今日は、他の学園の人とか、保護者の人とか……。

楽しいんですね、知らない学校の催しなんて。

……でも。

一つ楽しいことがありました。

ですね、一つ。

知らない先輩の顔が見れたこと。

あれ、私来てたの気づきませんでした？

すみません、人が多かったので声をかけられず……。

でも、ずっと見てましたよ。

頑張ってウェイターさんしてたの。

そうだ。

空き教室ついたら先輩のこと、癒してあげますね。

いつもみたいに、私の身体で。

……んふ。

手、ぎゅつとされました。

楽しみですか？

またあの時みたいに教室でするの。

私もですよ。

今度は私にだけ見せる顔でいてくださいね。

優柔不断なだけじゃない、積極的でえっちな先輩。

……あ、つきましたね。

SE:教室の扉をあける

(ゆっくりと最初の頃を思い出すように)

はは、なんか久々な感じですね、この教室。

最近は外とか、部屋だったりしてたので……。

この、少しほこりっぽい臭いも、落ち着いてくるみたいです……。

(一呼吸いれてから)

……。

ねえ先輩、こっち向いてくれませんか……？

【位置：中 距離：密着】

（柔らかに唇が触れ合う程度のキス）

ん……

んちゅ……んちゅ、んちゅ……んちゅ、ちゅう、ちゅ、れろ、れろ、んちゅう、んちゅう、ちゅう……。

はぁ……。

（主人公の身体に身を寄せながら）

すみません……。

私、もう我慢できないみたいです……。

手をつないでたときからずっと、先輩の唇に触れたくて……。

もう一回してもいいですか……？

……んふ。

ありがとうございます。

んちゅ……んちゅ、ちゅう、ちゅう、れろ、れろ、んれろ、んれろ、ちゅう……。

はぁ……。

（静かな空間で、高鳴る鼓動のみが響く）

今日ずっと見てた先輩の顔、こんなに近くにあります……。

胸も、先輩のと重なっちゃって……。

心臓の脈も、一緒になってしまうみたいです……。

ドクンドクンって……。

んふ、好きですよ……。

（舌を絡めるキス）

んちゅう……んえろ、んえろ、えろ、れろ……ちゅうつ、ちゅつ……。

はぁ、はぁ……。

「こ、おっきくなってます……」。

先輩のおちんぽ……」。

ズボン越しでもわかるくらいおっきくて……」

(身を寄せたまま下をまぎべの)

んっ……」。

触ると、あったかいのも伝わってきます……」。

んちゅ……ちゅうつ、ちゅうつ……」。

わたしも早くしたいです……」。

先輩ので、いっぱいかき回されて、気持ちよくなりたいです……」。

……うん。

ズボン脱がせますね……」。

このままキスしながら、脱がせますね……」？

(キスをしながらズボンを脱がせる)

ん……」。

んっ、んっ……」。

んちゅ、ちゅう、ちゅ、えろ、えろ、んちゅう、んちゅう、ちゅう……」

ふう、はぁ……」。

んふ、おちんぽ、出ました……」。

窮屈そうだったのが、勢いよく私の太ももに当たってます……」。

んっ……」。

柔らかいですか？私の肌。

ふふ、そうですか。

私も、脱ぎますね……」。

下着だけ、下にずらして……」。

(恥ずかしさを隠すようにからかうトーンで)

ん、んっ……。

はい、脱げました……。

ねえ、先輩……？

今日はその、後ろから犯してくれませんか……？

私の前だけの、先輩の激しい姿、刻んでほしいです……。

(キスの位置から離れる)

【位置：中 距離：近】

んふ、ありがとうございます。

じゃあ私、机に手をつけて体差し出しますので……。

(立ちバックの態勢に移動)

このままスカート捲ってもらえますか……？

(恥ずかしそうに主人公に振り向きながら)

んっ……。

見えますか……？

私のおまんこ……。

一緒に歩くだけで、こんなになっちゃいました……。

んっ……。

いれほしいです、そのまま……。

ぐちよぐちよで、おちんぽ欲しがりな私のおまんこに、先輩のください……。

はい、お願いします……。

ん……。

はぁ、ふう……。

(力をいれて一気に抜くように)

んっ……。

ふうふうふうふう……。

はぁ、ふう、はぁ……。

SE:挿入

(ゆっくり息をしながらおちんぼの形を確かめるように)

んふ、来ました……。

汗で湿った、ぬるぬるのおちんぼ……。

一気に私の奥まで……。

っ、はぁ、ふう……。

先輩のを、子宮まで届かせるための形……。

はぁ、はぁ……。

いいですよ、そのまま動いてください……。

SE:ジャストンややゆっくりめで

※ ゆっくりめな立ちバック、慣れない態勢でうつむきながら

ん……。

んっ、んっ、んっ、はぁ、ふう、んっ、ふう、ふう、はぁ……。

音、凄いです……。

気持ちいいですか……っ。おまんこの中……。

っ、んっ♡んっ♡

んふっ♡良かったです……。

私も気持ちいいですよ……。

好きな人に、後ろからされるの……。

んっ♡あっ♡あっ♡

顔は見えないのに……んっ、ふう……。

でも、いつもよりお腹の中にあるおちんぽの形が分かって……。

はぁ、はぁ……。

おまんこ、先輩のに馴染んいくのを感じします……。

あっ♡っ、んっ♡ふう♡はぁ……♡

そうやって、腰を突き出すと、ぬぶって広がって……。

んっ、んっ♡

それから引き抜くと……。

はぁ、はぁ♡

おちんぽを逃がさないみたいに、締め付けてしまうみたいです……。

んっ♡っ、ふう♡♡

んふ、これ、癖になってしまいますね……。

この身体、もう先輩のものでから……。

っ、はぁ♡はぁあ……♡

私からももつと、んっ♡締め付けちゃいますね……。

んっ、んっ♡っ、ふう♡ふう♡……♡んっ、んふ♡……♡

はぁ、はぁ……♡

ふふっ、きつくされるの、好きなんですか……？

ぴくぴく、感じました……♡

んっ、んっ、っ、ふう♡ふう♡……♡

っ、はぁ♡はぁ♡

それじゃ、もっと……っ……。

んっ、んあっ♡っ、んっ、♡んふっ♡んふっ♡んふっ……♡
はあ、はあ……。

私もこれ、好きです……♡

はしたないけど、腰とまらなくなってしまった……。

んっ♡んっ♡

欲しがってるみたいなの、下品な腰使い……。

んっ、んっ、んふっ、んふっ、んふっ……♡

すみません……♡

こんなえっちになってしまって……。

っあ♡っ、ああっ♡

手ですることすら、初めてだったばかりなのに……。

はあ♡はあ♡

今ではもう自分からお尻、動かしてしまってます……。

んっ、んあ♡、っ、んふっ♡はあ♡

机に手をついたまま、先輩にむかっておまんこ差し出す態勢で……。

はあ、んふっ♡っ、んふっ……♡

んっ……。えっちな私も好き、ですか……？

んっ♡嬉しいですよ♡

っ、はあ……♡

なら、もっとしちやいますね……。

大好きな人の、大好きなおちんぼ……♡

んっ♡んっ♡っ、んふっ♡はあ♡はあ♡えあっ♡あっ♡

おっ♡おっ♡っ、はあ、はあ……♡

ああ、だめです……♡

先輩が好きなんて言うから、身体……。

んっ、んっ、ふう……♡

敏感になっちゃったじゃないですか……♡

っ、はぁ、はぁ……♡

もうおまんこ、止められない……♡

えあっ♡あっ♡はぁ♡

後ろから、ぱんぱん聞こえて……。

んっ、あっ♡お尻と、太ももが当たる音……。

えあっ♡ふう♡はぁ♡

下の階からはまだ……んあっ♡あっ♡

いろんな人の声が聞こえてくるのに……。

ふう♡ふう♡

おまんこ、おちんぼ感じるために必死になっちゃって……♡

んふっ♡んっ、ふう♡っ、おづ♡んあっ♡えあ♡ああ……♡

※※※ 〵〵〵からしばらく会話重視でお願いします

ねえ先輩……♡

私もえっちな先輩が好きですよ……♡

んっ♡んっ♡

でも、今日は少しだけ、嫉妬してしまいました……♡

っ、はぁ……♡

だって、教室での姿は、あまり知らなかったの……。

あっ♡っ、ふう、ふう……♡

だから、私がえっちになってしまったのはそのせいです、多分……♡

んふっ♡んっ、ふう♡っ、んあっ♡えあ♡ああ……♡

先輩は、文芸部の先輩で、放課後私とあってくれる先輩で……

んっ……♡んあっ♡

あの頃と同じままで、一緒にいると安心する先輩……♡

はあ、はあ……。

なのに、同じ学年でも、クラスメイトでもないから……♡
んっ♡ウェイターさんしてる姿も好き、でしたけど……。
別の場所もあるのかなって思うと……。

あっ♡んっ♡んっ♡つ、はあ♡はあ……♡♡

私だけ、んっ♡ずるいですよね……。

孤立しないためにつて、クラスの子と会話を合わせるためにつて、
先輩のこと、利用してたのに……。

はあ、はあ……♡

分かってるのに、気持ちが落ち着かなくて……。

好きつて、厄介ですね……。

んあっ♡ああっ♡

一緒に居て嬉しいのに、ムカムカしてしまうのもずつと……
先輩のことが好きだったからみたいです……♡

んっ♡んっ♡つ、ふう♡はあ♡

お願いです……♡

そんなの気にならないくらい、満たしてください……♡

私にだけ見せる姿……♡恋人同士だけの顔……♡

えあっ♡あっ♡んっ♡んっ♡ふう♡

わたしももう……先輩と一緒にいられたら良いので……♡

取り繕わない、本当の私……♡

好きな人の前だけの……。

んっ♡ああっ♡

えっちで、先輩のことが好きで嫉妬してしまう私……♡

っ、はあ、はあ……♡

S田:ピストンをさらにゆっくり

(一度速度を落とし、お尻にある主人公の手を感じながら)

んふ、腰を掴む手で、撫でられています…♡

温かいです…♡

んっ…♡ふう、はぁ…♡

あの…。

その指で、私の胸も揉んでくれませんか…？

おっぱいでも感じたいです…♡

ブラ、ずらしてもらっていいので…♡

ん…んっ…。

はい…♡

※※※

S田:ピストン音の速度を戻す

(いきなり強く揉まれ高めの喘ぎが出る)

あっ♡んっ♡、ふう、はぁ、はぁ…♡

んふっ♡いきなり強く…♡

ここも、んっ♡好きですか…？

はぁ♡はぁ♡

私もですよ…♡

そうやっておっぱい揉まれるの、好きです…♡

先輩のこと、いっぱい感じられて…♡

おまんこも、お尻も、おっぱいも…♡

それに、汗の臭いも…♡

んっ♡あっ♡っ、あっ♡えあっ♡ああ…♡っ♡

そういえば、初めてもいっしょやって、してくれましたよね…♡

ふう♡はああ……♡

幸せ、感じます……♡

私の身体全部で、気持ちよくなってもらえてるんだって……♡

んっ♡あっ♡えあっ♡あっ♡

んふっ♡

先輩の為の、無防備な身体……♡

えあっ♡あっ♡っ、んあっ♡はあ……っ♡はあ……♡

んっ♡この中……。

んふ、おちんぽ……。

さっきよりも大きくなってますね……♡

はあ♡はあ♡

いいですよ♡もっど激しても……♡

おっぱいも、おまんこも……♡

ガシガシって乱暴にして、先輩のこと、もっと刻み込んでほしいです……♡

(っっっ)だけ少し余裕を見せる感じで)

ふふっ、このおちんぽ専用なんだって……。

※

SE:ポストンをやや早めに

※ラストに向け速度をはやめる、オホ声は力を入れるというよりは抜く感じをお願いします！

おっ♡っ、んおっ♡っ、おっ♡えあ♡えああ……♡

奥……っ♡激しです……♡

っはあ、はあ……。

気持ちいいですよ、先輩……♡

おっ♡おっ♡っ、んおっ♡っ、はあ♡はあ……♡

気持ち、よすぎで、また、おっ♡♡ふううう♡変な声出しちゃってます……♡

んっ♡あっ♡もっど、聴いてほってください……♡

恥ずかしいけど、んっ♡えっちな私も見してほしいから……♡

んっ♡おっ♡おっ♡♡えあっ♡あっ♡っ、ふう♡はあ♡んっ♡んっ♡
すっ♡い音、してますね……♡

先輩が私に向かって打ち付けてくる音……♡

おっ♡ふう♡♡さっきよりも、強く聞こえてきて……♡

はあ♡はああ♡

おまんこのおつゆも混じりあった、えっちな響き……♡

おっ♡っ、んお♡っ、おっ♡えあ♡えああ……♡

すみません、私、先に……♡

えあっ♡っ、んっ♡はあ♡

乱暴に強く犯されて、イっちゃいます……♡

(ヒロインが先にイキ、立ってるのもやつこのように足を震わせる)

おっ♡んっ♡っ、んっ♡はあ、はあ♡だめ♡おっ♡

おっ♡っ、はああ♡っお♡っ、ふう、ふう♡

んっ、ふううう……♡はあ、はああ……♡

ごめんなさい、イってしまいました……♡

っ、はあ♡はああ♡はああ……♡

やめないでください……♡

大丈夫です……♡

脚、ふるふる震えちゃってますけど……。

最後まで、先輩のこと感じたいですから……♡

っ、はあ♡

はい、♡お願いします……♡

おっ♡♡おっ♡♡んおっ♡っ、えあっ♡っ、はあ♡はあ……♡

先輩、お願いです……。

その好きって言葉、耳元でも聴きたいです……？

そうしたら私、もう少し頑張れますので……♡

(おおいかざんむりょうな態勢で)

【位置：右 距離：密着】

(距離を近↓密着に移動しながら)

おっ♡っ♡ふう♡ふう……♡

んふ、嬉しいです……♡

先輩が好きって言ってくれると、すごく安心して……♡

っ、はぁ♡はぁ♡

私も、好きです♡

先輩、大好きです……♡

んっ♡おっ♡

他のこと、どうでもよくなるくらい♡

えあっ♡あっ♡あっ♡んっ♡おっ♡おっ♡っ、はぁ♡はぁ……♡

あったかい息、近くで感じます……♡

先輩が……おっ♡気持ちよくなってる呼吸……♡

はぁ♡はぁ♡

んふっ♡そろそろ、限界ですか……？

えあっ♡おっ♡あっ♡はぁ♡

良かったです……♡

おっ♡おっ♡っ♡ふう♡

そのまま、出してください……♡

おまんこ、最後までキツくしめますので……♡

後ろから、抱きしめられたまま、お願いします……♡

(再びイキ頭が真っ白になりながら射精にむけ)

おっ♡おっ♡んっ♡んっ♡っ、あっ♡えあっ♡んっ、はあ♡

先輩、好きです……♡

おっ♡あっ♡っ、はあ♡はああ♡

えっちのときの恥ずかしそうな仕草も……♡

大事にしてくれる優しいところも……♡

おっ♡えあっ♡っ、はあ♡

でも、自分に自信を持つてるところも……♡

えあっ♡っ、あっ♡おっ♡おおっ♡っ、ふう♡はあ♡

誰になんて言われても、好きなことにひたむきで……♡

周りの声を気にしてばかりの私にはない、先輩の魅力……♡

おっ♡んおっ♡っ、ふう♡ふう♡えあっ♡あっ♡んっ、ふう、ふう……♡

はい……っ♡お願いします♡

精液、おまんこの奥にくださる……♡

おっ♡あっ♡あっ♡おおっ♡っ、おっ♡んっ♡っ、んっ♡んんんっ……♡

※

SE:射精

(呼吸を整えながら)

……えあ♡ああ♡っ、はあ、はあ♡はああ……♡

ふう……♡ふうう……♡

ドロドロの、来てます……♡

おなかの中、精液がたくさん……♡

はああ……♡

んふ、太ももも、あったかいです……。

おまんこから、先輩が出したのが溢れてきます……。

おちんぽとおまんこの隙間を縫うみたいに……。

はぁ、はぁ……。

気持ちよかったですか……？

こんなにいっぱい出して……。

私です。

後ろからいっぱい突かれて、おっぱいも雑にされて、すごく幸せでしたよ。

SE:おちんぽを引き抜く

(力を抜く)

ふうう……。

おちんぽ抜けちゃいました。

……んふ、してしまいましたね。

文化祭抜け出して、こんなにはげしいセックス……。

下品な声もあげてしまって……。

でも、これが私たちですよ。

えっちなことをして、繋がれたんですから……。

この教室で、初めてしたときから……。

はぁ、はぁ……。

それに、今は私たち、恋人同士なんですから……。

えっちな当然、ですよ……？

本当はもっと、したいくらいですけど……。

さすがにちょっと、疲れてしまったので……。

休みましょうか……。

……恋人らしく、ですね。んふ。